

～仲間とつくる持続的な地域農業～

中野 聡さん（西予市（旧宇和町））

中野農園代表・田力本願株式会社 代表取締役 1973年生まれ

ホームページ <https://farmer-inoue.jimdo.com/>

フェイスブック <https://www.facebook.com/meguri.otokomai>



☆経営概況☆

1ターン12年目で水稲7haを栽培。**無農薬・無化学肥料の自然農法と減農薬栽培を柱に環境と調和した農業を目指す**。米麦農家4人で「田力本願株式会社」を設立し、米のブランド化や加工品の開発、稲作文化継承の為に様々な活動を展開しています。

☆ここがポイント☆

■祖父や両親の出身地で農業がしたい！

両親が西予市宇和町の田之筋地区出身で、祖父が残した田があったので、有機のお米づくりをするために脱サラして就農しました。農業をすることは地域で生活し、地域の方々と一緒に生産環境を守るためにも大切です。**田舎暮らしの豊かさや大切さを知ってもらいたい**と思っています。

■ずっと農業が続けられるように！

持続的であることは農業だけでなく生活の基本となる考え方です。そのために農薬や化学肥料に頼らない生産方式を選択していますが、さらに地域産業として農業、地域と共に歩む農家が生き残るために仲間と法人を設立しました。**宇和米のブランド化を柱に田んぼから新しい価値を産み出し、農業を次世代に継承するために活動**していきたいと思っています。

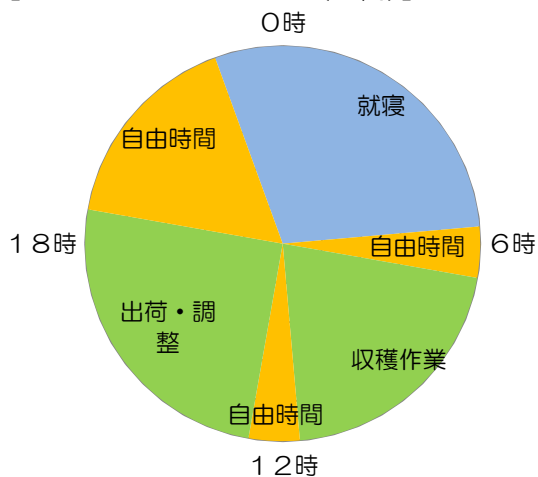


畦畔の草刈りも大切なお仕事



2016年より乗用型除草機を導入

【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

「お米の専業農家さんは秋～冬は何しているの？」ってよく聞かれます。実際にお米づくりに携わってみると、田んぼに稲が植わっている期間（約4ヶ月）以外に田んぼの準備に手間と時間がかかることが分かります。土づくりのために堆肥を散布したり、水路や石垣、畦畔の整備をしたりなどと農繁期にできないこともあります。また、作ったお米を販売して代金を回収するまでが農業の仕事です。商品の受発注や梱包・発送・請求書の発行など様々な事務仕事もありますし、イベントや商談会への出展、商品開発などやることはたくさん盛りです。

【一週間のライフスタイル】

月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期】	← 育苗・田植え・収穫・出荷 →					休日
【普通期】	← 栽培管理（草刈り・除草・水管理など）・出荷 →				← イベント →	
					休日	



BBQ で地元の美味しいを発信



仲間との飲みニケーションも大切

☆これからの夢や目指すもの☆

地元の米専業農家4人で結成した「田力本願株式会社」では、宇和米を全国的にPRするために、みかんボカシを土づくりに使用したオリジナルブランド「田力米」を販売しています。都市部で開催される商談会やイベントに参加して販路を開拓すると共に愛媛県や西予市の魅力を知ってもらうきっかけになればと思っています。

また、福祉作業所と連携しているみかんボカシづくりが美味しい野菜づくりに広がり、さらに地域を巻き込んだブランド化や特産品が産まれるなど元気な田舎づくりに貢献したいですね。

☆メッセージ☆

農業は力仕事のイメージがあるかもしれませんが。でも農作業の大半は機械化されてITの活用も進んでいる現在では機械やパソコンに関する知識や経験、育てた農産物を売るための営業力や経理・事務能力、商品開発のための食品加工技術など、どんな専門技術でも活かすことができます。農家にならずとも農家と一緒に新しい価値を産み出すために力を貸していただければと思っています。